今年絶対医学部に
進学したいなら
アイメディカ

AIMEDICA
医学部予備校アイメディカ

GUIDE BOOK

皆さんへ

私は、大手予備校で 12 年、医学部予備校で 15 年指導したのち、医学部予備校アイメディカの代表として 9 年にわたり、英語の指導のほか、入試問題の傾向分析および進路指導、生活指導、講師全員が連携できる体制づくりなど、生徒一人ひとりをきめ細かく指導することに力を注いできました。

その結果が、直近 5 年間の医学部平均進学率 88%（65 名 /74 名）です。

私たちアイメディカは、生徒の皆さんを子ども扱いしません。自律し、自分で目標を立てて勉強することができる大人になっていくことを要求します。受験の主役は皆さんで、私たちではないのです。

私たちは、受験のプロフェッショナルとして、みなさんが自律し、目標を立てて勉強するために必要なことをすべて提供し、全力でフォローします。厳しいことを求めますが、決して無理や無駄なことを求めません。志望校合格に向けて一緒にがんばりましょう。

また、医学部合格は「自分の夢」であることを自覚し、その夢を支えてくださる親への感謝の気持ちを忘れず、今を無駄にせず楽しんでいきましょう。

指導の方針

「わからず、できない」という状態から「わかって、できる」という状態になるためには、「わかる」ところからはじめて、それを「できる」に変えることの繰り返しをしていくことが大切です。最初は、「わかる」内容も少なく、「できる」ことも多くありません。

一度に高みに上ろうとせず、簡単な問題でよいので、できるだけ早くすべての分野を一通りやり終えてしまい、難易度を少しずつ上げながら学習するのが、合格へつながる唯一の道です。十分な実力がないのに、計画性もなく難易度の高いことをやってしまうと、伸びるものも伸びません。簡単なところから一つひとつ、繰り返し身につけていくことが大切です。そして、これはしっかりとした計画に従って行われなくてはなりません。

アイメディカでは、計画を立て、それに従って授業と演習を行い、確認のためのテストをすることを、Plan − Do − See サイクルと名づけ、指導方針として掲げています。

アイメディカ代表　佐野 祐子

IDEA

アイメディカの理念

「一人ひとりに丁寧で、きめ細やかな教育をする。」
それは優しくきめ細やかなサービスをするという意味ではなく、一人ひとりと
しっかり向き合い、たとえ嫌なことや苦手なことでも、
合格するために必要なことはしっかりと取り組んでもらうということ。

受験勉強に特別はありません。やるべきことを効率よく最後までやった人が合格します。

大学受験に特別な勉強法はありません。

大学受験は、決められた範囲の公式、考え方、単語などの知識を覚え、問題の解き方を理解して、それを問題に応用することができれば、合格に必要な得点が取れるようにできています。医学部ではこの傾向が特に顕著です。しかし、多くの人が医学部の合格水準に達することができずに挫折してしまいます。これは「決められた範囲」を知らないまま、「知識を使いこなせるようになるまでのプロセス」を知らずに、がむしゃらに問題演習をしているだけだからです。何をするべきか、どこまでするべきかを知らないまま努力しても、決して成果は出ません。成果が出なくても最初のうちは頑張ることができるでしょう。しかし、思うように成績が伸びない自分に嫌気がさしたときに挫折がやってきます。まじめな生徒ほど、挫折したときに自分の努力が足りないと思いこんで大きな挫折感を味わいますが、足りないのは努力ではなく学習計画なのです。医学部に合格したいのであれば、計画を立て、必要な知識を覚え、問題の解き方を理解して、問題演習によりそれを使えるようにすることです。やるべきことを明確にし、効率よく、最後までやり抜くことができれば、絶対に医学部合格を勝ち取ることができます。

一人ひとりの生徒に、しっかりと向き合って育ててきたから、無選抜ながら医学部進学率８８％（直近５年間の平均）を達成。

医学部の入試を突破するために身につけなくてはいけないことは全員同じです。しかし、授業を受け始めるときの生徒一人ひとりの学力は様々です。アイメディカの指導は、やるべきことを明確に提示し、性格や学力にあわせた学習計画を立てることから始まります。学習計画には、生徒が苦手なことや嫌なことも含まれますが、アイメディカでは、万全のサポート体制により乗り越えられる支援をしています。このように、一人ひとりにしっかりと向き合って育てることで、直近５年間の医学部進学率88%を達成することができたのです。

合格実績（H26-27年）

医学部	
愛知医科大学	6名
岩手医科大学	9名
川崎医科大学	9名
金沢医科大学	7名
杏林大学	5名
北里大学	6名
藤田保健衛生大学	7名
帝京大学	9名
日本医科大学	2名
日本大学	4名
聖マリアンナ医科大学	8名
獨協医科大学	1名
兵庫医科大学	1名
福岡大学	1名
東海大学	4名
昭和大学	2名
東京医科大学	2名
東京女子医科大学	2名
埼玉医科大学	7名
久留米大学	2名
歯学部	
日本大学	1名
日本大学松戸歯学部	4名
鶴見大学	1名
獣医学部	
日本大学	1名

受験勉強とは、
決められた範囲の内容を理解して、
それを用いて問題を
解くことができるようになる
プロセスに過ぎません。

受験勉強は、入試問題を解くという技術を学習するプロセスです。これは、記憶・理解・応用の３段階に分けることができます。

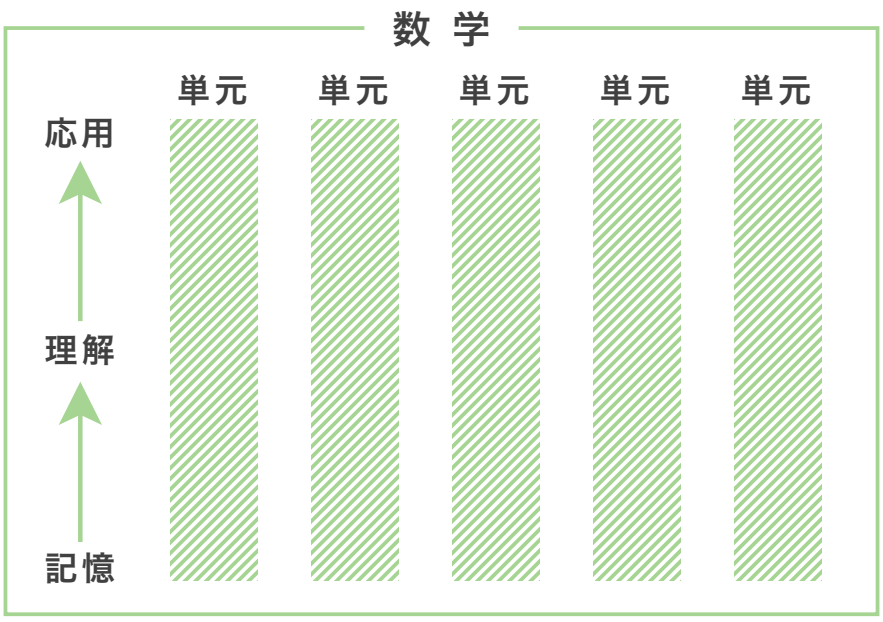
何も知らない状態で考えることはできません。単語や公式などの知識を知らなければどうしようもないのです。ですから、最初に必要な知識を記憶する必要があります。それが終わったら、次に、記憶した知識を用いて問題の解法を理解します。ここまできて、初めて問題に取り組むことができます。それまでに身につけた知識や解法を、問題に応用する方法を考えるのです。

伸び悩む受験生の多くが、知識の記憶、解法の理解が不十分なまま問題に取り組んでいます。伸び悩むのは才能がないからではなく、正しい手順で学習しないからなのです。

また、一度に全範囲の基本レベルから発展レベルまで学ぶことは不可能です。取り組みやすいように教科を分野に分け、さらにそれをレベル分けして記憶・理解・応用のステップを繰り返し、段階を踏んで力を伸ばしていかなくてはなりません。

学力は記憶・理解・応用の3段階を繰り返して向上する

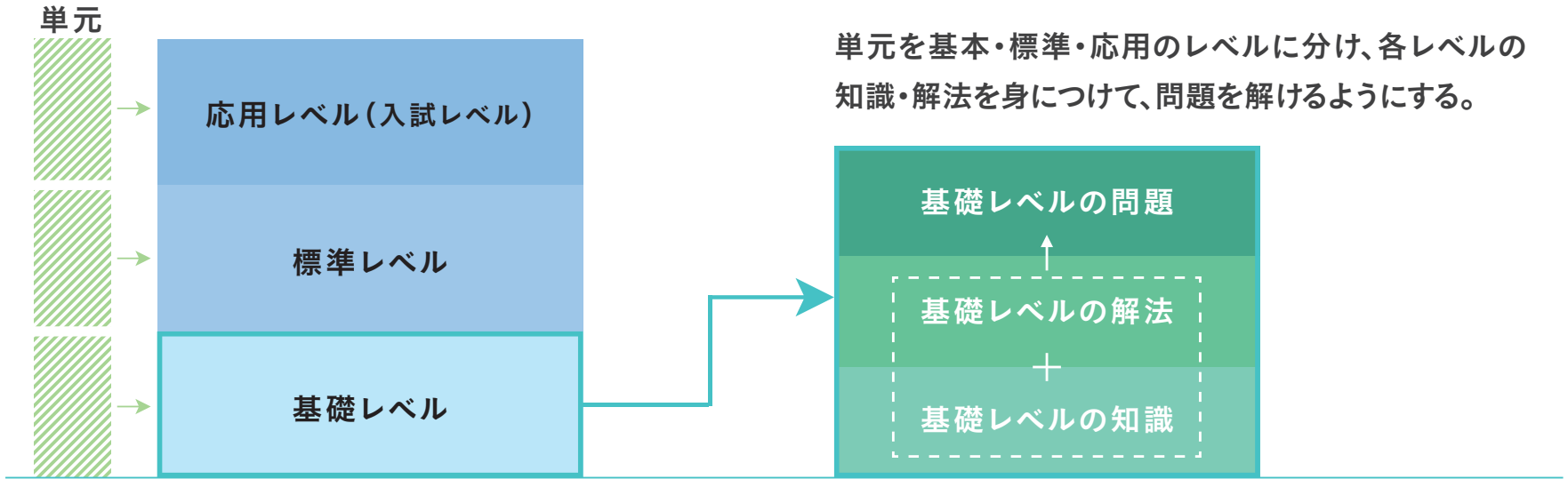
１つの教科を習得できる大きさ（単元）に分ける



一つの単元について記憶・理解・応用の3段階の学習を行い、問題を解けるようにする。

**できる単元を増やせば
合格する水準に達する。**

一度に入試レベルまで学習するのではなく、レベル分けをして学習する

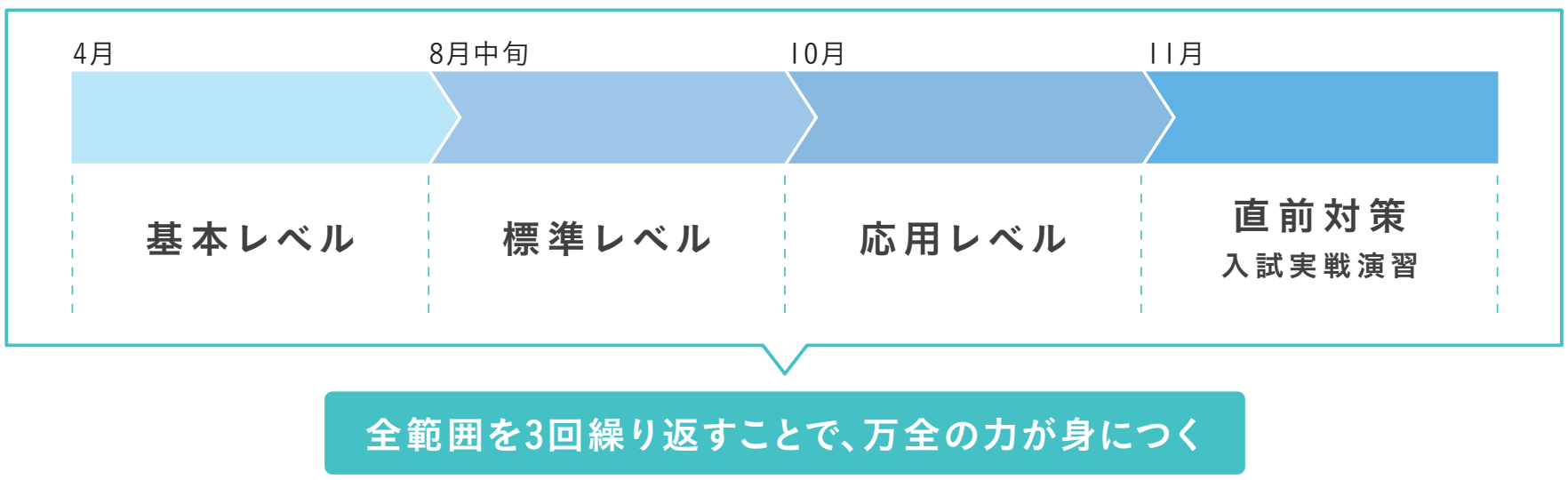


知識を理解して覚え、
それを使いこなすことが
できるようになれば、
入試で合格点を取れるようになります。

記憶・理解・応用により、問題を解く力を獲得できるとはいえ、最初は記憶できる知識も、理解できる解き方も少なく、解ける問題の難易度も高くありません。

しかし、同じ単元を、少しずつ難易度を上げながら繰り返し学習することにより、知らなかったことが当たり前のことになり、知識を使いこなせることができるようになっていきます。このようにして、最初はとても難しく思えた入試問題も解くことができる力を身につけることができます。

1年を4つのタームに分け、基本・標準・応用のレベルを学ぶ



人が新しい知識を理解し、覚え、
使いこなすまでのプロセス設計のプロ、
それが医学部予備校アイメディカです。

アイメディカは、学習に対するこのような考察のもと、医学部入試突破のために最適な学習プロセスを設計しています。少人数制授業、個別指導によって知識の記憶と解法の理解を達成し、それを忘れないうちに問題に応用できるよう、その日にやるべき問題を渡します。授業と問題演習がかみ合うことで、高い学習効果を生み出しています。

また、1年を4つの期間に分け、最初の3つの期間で全範囲を1回ずつ、段階的にレベルを上げながら指導を行うことで、無理なく実力を伸ばしています。

学習計画表による管理と、授業・RWT※の連携で一貫性のある指導を実現

※ Review With Teacher : P.09 に詳述

毎日の指導記録や学習到達度が一目でわかりやすく記録される。

学習計画表

PLAN

DO

SEE

少人数制授業
個別指導・RWT

RWT

指導と RWT は講師が
同じだから一貫性がある！

マンスリーテスト
学習計画表への記入

毎月の試験で
到達度を測定し、課題を発見

学習計画表への成績記入

各教科の先生が連携せず、ちぐはぐで一貫性のない指導をしていては、医学部合格を勝ち取ることはできません。たとえできたとしても、それはかなり効率の悪い指導を受けたと言わざるを得ません。

アイメディカは、学習計画表により、生徒の弱点や課題などの情報を、その生徒とすべての講師が共有することで、異なる教科間でも極めて高いレベルの連携を実現しています。

また、指導に当たる講師が RWT での演習も監督するため、その日に習ったことと演習内容が常にかみ合い、学習の効率が最大になります。

学習計画表のチェック、課題作成、授業、RWT、学習計画表の記入の積み重ね

アイメディカ 講師の仕事

学習計画表の作成

定期面談

授業前に学習計画表のチェック

授業ごとに学習計画表の確認と記入を行い、生徒の状況を担当講師と生徒本人が共有します。

授 業

教えるだけではなく、生徒からの質問の対応や一人ひとりがRWTでやるべきことの指示など、きめ細かく行っています。

受験指導は、生徒が学習しやすいように教科を単元に分け、学習する順序と到達点を明らかにして教材を準備し、計画に従って授業と演習を行い、1つの単元が終わるごとに効果測定のテストを行って計画を見直すという、当たり前のことの積み重ねです。

しかし、この、当たり前の積み重ねには非常に大きな労力が必要です。

アイメディカは、理念である「一人ひとりに丁寧で、きめ細やかな教育をする。」にのっとり、こうした地味で目立たない、当たり前のことの積み重ねに、どの予備校や塾よりもまじめに取り組んでいます。その結果が、5年間の平均医学部進学率88%なのです。

RWT

授業を担当した講師が、そのままRWTに入るため、授業と自習がしっかりかみ合い、最大効率の学習ができます。

受験生は十人十色、不得意な分野がみんな違います。
だから学習計画も、その人に合わせたものが必要です。

学習計画表　化学

学習計画表　数学

学習計画表　英語

	レベル①	レベル②	レベル③	レベル④	レベル⑤	レベル⑥
5 文形の確認	4/10	6/19	8/8	9/7	10/4	11/4
語・句・節	4/10	6/19	8/8	9/7	10/4	11/4
時制（現在・過去・未来）	4/15	6/24	8/11	9/10	10/7	11/7
時制（完了時制）	4/15	6/24	8/11	9/10	10/7	11/7
助動詞①	4/15	6/24	8/11	9/10	10/7	11/7
助動詞②	4/20	6/29	8/14	9/13	10/10	11/10
受動態	4/25	7/4	8/17	9/16	10/13	11/13
冠詞と名詞	4/30	7/9	8/20	9/19	10/16	11/16
前置詞	5/5	7/14	8/23	9/22	10/19	11/19
前置詞関係代名詞	5/10	7/19	8/26	9/25	10/22	11/22
関係形容詞・関係副詞	5/15	7/24	8/29	9/28	10/25	11/25
複合関係代名詞	5/20	7/29	9/1	10/1	10/28	11/28
to 不定詞	5/25	8/3	9/4	10/4	10/31	12/1
動名詞	5/30	7/14	8/26	9/25	10/22	11/22
分詞	6/4	7/19	8/29	9/28	10/25	11/25
分詞構文	6/9	7/24	9/1	10/1	10/28	11/28
仮定法①	6/14	7/29	9/4	10/4	10/31	12/1
仮定法②	4/15	6/24	8/8	9/7	10/4	11/4
比較①	4/15	6/29	8/11	9/10	10/7	11/7
比較②	4/25	7/4	8/14	9/13	10/10	11/10
話法①	5/5	7/9	8/17	9/16	10/13	11/13
話法②	5/15	7/14	8/20	9/19	10/16	11/16
会話文	5/22	7/19	8/23	9/22	10/19	11/19

昭和大学合格レベル

学習計画表

アイメディカでは生徒一人ひとりに、教科ごとの学習計画表を作っています。生徒一人ひとりの顔が異なるように、得意不得意の範囲や学力や理解力は異なります。医学部合格のラインは全員同じですが、そこに至る経路は人それぞれなのです。ですから、一人ひとりに学習計画表を作り、それぞれの力に合わせて医学部合格を目指させるほうが、全員同じペースで指導をするよりも効率よく力を伸ばせるのです。

学習計画表は、横に単元を表す進度、縦に難易度を表す深度をとった表で、縦の深度は、教科書例題レベルから始まり、私立大学医学部の上位校や国公立大学医学部レベルまで細かくレベル分けされています。この表に記号を書き込むことでその生徒がどの単元をどのレベルまでマスターしたか、次にやらなければならない課題や目標と現在の実力の差が一目でわかるようになっています。

複雑なシステムは見栄えは良いのですが、他教科の先生が見たときに理解しにくい、入力に時間がかかり、結局継続できなくなってしまうなどの欠点があります。

アイメディカの学習計画表は、8年間の指導の中で、無駄をなくし、誰でもわかるようにできるだけ簡素で、実用的なものに仕上げたものです。

横軸に進度、縦軸に深度をとり、誰でも一目で学習状況がわかる

学習進度 →

学習深度 ↓

	微分の定義	微分係数	導関数	接線と法線
①				
②		教科書例題〜練習問題レベル		
③				
④		中堅私立大学医学部レベル		
⑤				
⑥		上位私立大学医学部レベル		
⑦				
⑧		慶應・慈恵会・順天堂レベル		

学習計画表により

1. 計画的な学習が可能
2. 弱点の可視化
3. 講師間の連携が可能

一方向にならない対話のある指導、でも必要な知識は完全に伝授する。だからアイメディカは少人数、個別、ベテラン講師

学力が十分でない段階や、勉強を始める春先の段階では、一斉授業で先生から一方的に流れてくる知識を頭に流し込んでも、十分に定着しません。

この段階では、授業中に理解できないことがたくさん出てきます。授業で習ったことを理解するために必要な知識や解法が十分定着していなかったり、初めて聞く知識や解法をうまくイメージできなかったりするからです。

しかし、知識や解法がある程度定着してくると、それらを使って新しい知識を理解したり、問題へ応用できるようになってきます。すると、先生の解答をそのまま覚えるのではなく、別解や異なる表現の仕方を考えるようになります。

どちらの段階でも、一方的な授業は効率がよくありません。授業中に先生と質疑応答をしたり、場合によっては生徒の間違いを先生が見抜いて、その場で直したりするような、対話のある授業が理想的です。

このような授業は、少人数制授業または個別指導で、レベルの高いベテラン講師でないと実現できません。人数が多すぎれば一人ひとりの生徒の状況を把握できませんし、少人数制授業や個別指導であっても、先生の技術が低ければ、生徒の抱えている問題を見抜いて、訂正することはできません。ですから、アイメディカは少人数、個別、ベテラン講師にこだわります。

アイメディカは次の条件を満たす講師だけを採用しています

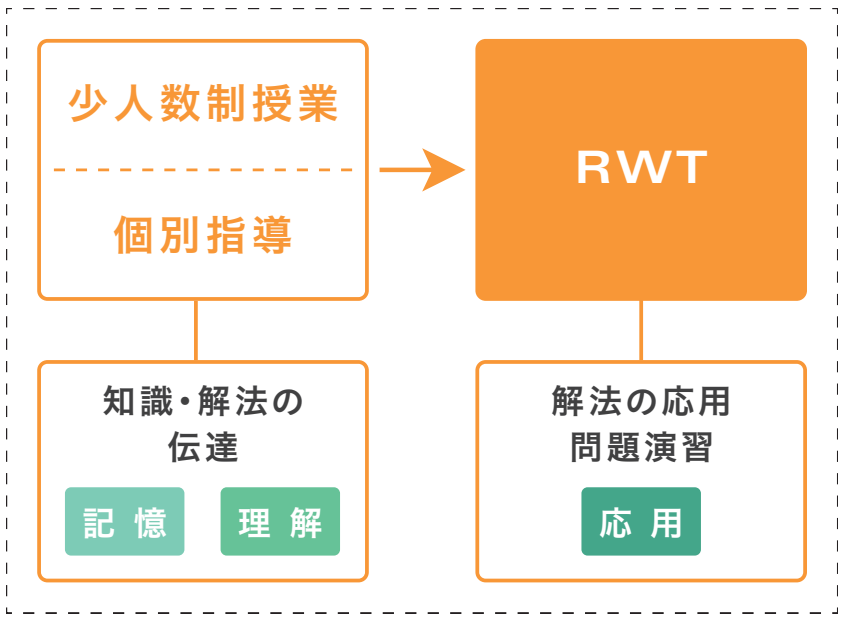
① 専門指導分野を持つ卓越した講師

② 指導科目の出題傾向を分析できる講師

③ 生徒にあわせた指導のできる講師

④ 他の講師と連携して指導にあたれる講師

先生に教わってすぐに、先生と一緒に練習する。だから本当の力が身につく。



授業で新しい知識や問題の解き方を学んでも、使わなければすぐに忘れてしまいます。どれほどまじめに授業を受けても、それだけでは問題を解くことができるようにはならないのです。得た知識や解き方を問題に応用し、使いながら理解を深めることが大切です。

アイメディカでは、授業後、その日の講義内容に合わせて作成したオリジナル問題プリントにより、講師の監督のもとで、演習を行います。

講師は、生徒からの質問を受け付けるほか、問題を解いている生徒一人ひとりをチェックして回り、必要を感じたら、すぐに指導を行います。

この講師による監督付きの演習授業をReview With Teacher (RWT) と言います。

監督付きの演習時間は他の塾にもありますが、アイメディカのRWTは、その日の授業とリンクしていること、学習計画表にもとづいて計画的に実施されていることが大きな特長です。

生徒は、授業の記憶が残っている状態でRWTに入り、演習を通じて知識や解き方の整理をし、問題への応用方法を学ぶことができます。理解できていないところや、間違えて覚えてしまっているところは、RWTの講師による指導を受けられますから、何も知らない状態から応用力まで一気に身につけることができ、最も効率のよい学習をすることができます。

指導する先生が、RMTで演習する課題を準備するから最大効率

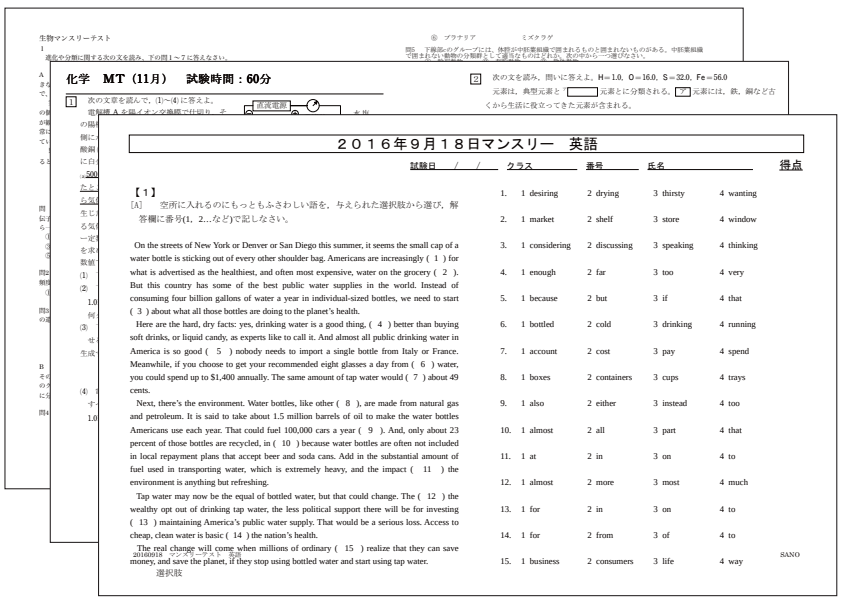
授業後に、
その日のRWTで演習する問題を渡す

その日に習ったことをRWTで
演習するため、学習効率が極めて高い

11月頃には、毎日、入試問題を時間を区切って解く

実戦力が急激に身につく！

テストを通じてそれぞれの時期に達成するべきことを提示し、同時に実戦力を磨き上げます。



年間スケジュール

5月	前期授業	全統マーク模試・全統記述模試
6月	前期授業	マンスリーテスト
7月	前期授業	マンスリーテスト
8月	夏期講習会・夏合宿	マンスリーテスト
9月	後期授業	マンスリーテスト
10月	後期授業	全統マーク模試・全統記述模試
11月	後期授業	マンスリーテスト

アイメディカは独自試験と年4回の外部模試を組み合わせ、5月から11月の間の毎月、マンスリーテストを実施します。これは、単なるチェックテストではなく、入試本番に向けての実戦演習です。

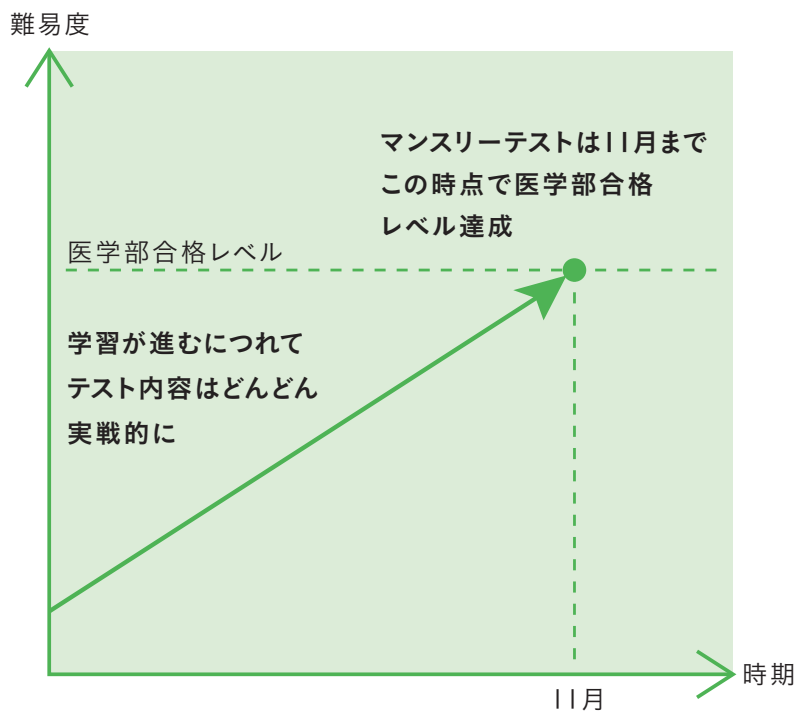
毎日の授業と演習で、知識や解法や応用力が身についても、実戦的な練習をしていないと、試験には通用しないものです。塾生全員が定期的に集まって、医学部入試に即した実戦形式の問題を時間を測って解くことで、培った力を入試本番において、すべて発揮することができる実戦力を養うことができます。

また、定期的な試験があることで勉強にリズムができ、生徒同士の間によい意味の競争心や緊張感が生じ、学習が効率化します。

私立大学を目指すコースと国公立大学を目指すコースは、問題と解く時間を変えています。私立大学の入試問題では、多くの標準問題をてきぱきとこなさなくてはなりませんので、前半は数学、英語、理科をそれぞれ90分、90分、60分で解くように設定し、後半はスピードをつけるためにすべての教科を60分で解くように設定しています。一方、国公立大学の入試問題は、じっくり考える必要がありますので、数学、英語、理科の解答時間をそれぞれ120分、120分、60分に設定しています。

マンスリーテストの目的

1. 入試本番で力をすべて発揮することができる実戦力を養う
2. テストに向けた勉強でそれまでの総復習ができる
3. 生徒間によい意味の競争心や緊張感を生み出す



6つのチカラ

教育システムだけ優れていても、1年間という長い期間、生徒を支えていくことはできません。アイメディカの高い合格率を支える力を紹介します。

1 きめの細かい究極の個人尊重の指導

「一人ひとりに丁寧で、きめ細やかな教育をする。」がアイメディカの理念です。しかし、これは個々の生徒のペースにあわせるという意味ではありません。「その生徒が合格するために必要なことは何か」を徹底的に考え抜くということです。

そのため、アイメディカでは少人数制授業、個別指導を通じて 生徒一人ひとりの状況を完全に把握します。そして、個々の志望校合格のために必要な学習は何かをしっかり判断し、学習計画、受験計画を決定しています。

システムやカリキュラムの押しつけではなく、各生徒のニーズに盲目的に従うような放任的な指導でもない、一人ひとりの状況に応じた、医学部合格達成への究極の個人尊重の指導がアイメディカの指導です。

aime

2 全員がプロ講師・各教科専門講師チームの連携によるサポート

どれほどよい教育システムや教材を作っても、それを運用する講師の能力が低くてはどうしようもありません。アイメディカの講師は全員、医学部受験に精通したベテランのプロ講師です。

アイメディカは、よりよい指導方法を常に模索する研究心と、面倒見のよさを持つ講師のみを厳選し、指導を行っています。少人数制授業や個別指導だけではなく、RWTにもプロ講師が常駐し、生徒一人ひとりをきめ細かく指導しています。

また、全教科の講師がチームを組み、ミーティングを重ねて生徒の学習進度と理解度を確認しながら学習計画を検討し、学習計画表、少人数制授業、個別指導、RWTの内容を決定しています。

ベテランプロ講師によるチーム連携指導。それがアイメディカの指導力の源泉です。

アイメディカの

3 ご家庭との連携・マンスリーレポートの提出と保護者面談を実施

医学部という難関学部に合格するには、周囲の精神的サポートも必要です。アイメディカでは、生徒の一人ひとり学習の進度、理解、状況などを検討する各教科講師のミーティングをもとに、学習進度、今後の学習計画、指導内容、モチベーションなどを詳細に記載したマンスリーレポートを作成し、ご家庭に送付します。

また、年2回の定期父母面談を行い、ご家庭で生徒の状況がつかめず不安になるようなことがないようにいたします。定期父母面談以外にも、ご希望や必要がある場合は、保護者様を交えて受験相談を実施しております。

アイメディカ、生徒、保護者様の3者がチームとしてまとまることで、本当に効果のある受験指導を行い、高い合格率を達成しています。

4 生活面・メンタル面のサポート、最高の学習環境と寮

受験勉強はハードで孤独で不安なものです。常に現在の自分以上の状態へと能力を向上させていく必要があり、ライバルとの順位関係を常に気にしなくてはならないことから、自信を失い、何をしてよいのかわからなくなるなど、勉強が手につかなくなることもあるものです。

アイメディカには、塾内に精神面・生活面の相談に応じるスタッフが常駐し、受験勉強を乗り切るための、生活面・メンタル面のサポートをしています。

また、遠方にお住まいの方、通学時間がもったいないとお考えの方には、静かで安心できる寮、マンションをご紹介いたします。

このように、アイメディカは学習面だけではなく、受験生活全体をサポートいたします。

願書指導・二次試験対策ほか、各種対策講座

小論文、面接などによる二次試験は、年々比重が増しています。前年度試験の情報を入手、分析が終わり、次年度の入試概要が発表される7月にあわせて、アイメディカでは、夏期に二次試験対策を集中して実施します。

その後も、9月より小論文を週1本のペースで書き、個別に指導を行うことで小論文の力を確実なものにします。模擬面接では礼儀作法、言葉遣いはもちろん、返答内容に至るまで過去の質問例をもとに丁寧に指導します。

アイメディカでは、このような二次試験の対策だけではなく、出願理由や医師志望理由などを書かねばならないために意外と時間がかかる面倒な願書の書き方の指導も実施しております。

aimedica

渋谷駅から徒歩２分、安心安全の通学環境

アイメディカは、渋谷駅南口改札から横断歩道を渡ってすぐ、渋谷警察署に隣接する建物にあります。

アイメディカがある渋谷警察署方面は、繁華街の道玄坂方面とは異なり、青山・恵比寿に隣接し、青山学院大学、国学院大学、都立広尾高校などがある文教地区で、落ち着いて勉強することができる環境です。

インタビュー
interview

アイメディカのカリキュラムと学習管理システム

—アイメディカは無選抜ながら、2013年度に医学部医学科合格率100％を達成し、直近5年間の合格率も平均88％（65名／74名）と、非常に高い合格率を達成しています。このような指導実績をあげることができたのはどのようなカリキュラムと管理システムによるものなのでしょうか。

佐野：アイメディカのカリキュラムでは、同じ単元を簡単な問題からはじめて、難しい問題へと何度も繰り返して指導を受け、演習をして、無理なく学力を向上させていきます。浪人生の少人数制授業では一年で3回、全範囲を指導してから各自の志望校対策を行います。

—一年で3回、全範囲を指導するとなると、相当の授業数になりますね。また、生徒が解く演習量も相当のものになりそうです。

佐野：そうですね、授業数、演習量ともに他予備校と比べて多く、厳しい指導をしていると思います。それくらいやらないと偏差値50から一年で医学部に合格するのは難しいのです。しかし、厳しい事を要求してはいますが、無理なことは要求していません。

　大学、大手予備校、医系予備校での25年間で培った経験と、他教科の先生たちとの検討の末、行きついたのが現在のカリキュラムです。

—しかし、解く問題の量が多いと、生徒が圧倒されてやる気をなくたりしませんか。

佐野：一度に全部やれ、と言ったらそうなってしまうと思います。アイメディカでは各生徒に、一日にやらなければいけないことを明確に指示します。生徒は毎日その目標に向かって頑張り、わからないところがなくなってから帰ります。この方法ですと、毎日新しいことを覚えているという実感がわきますからどんどん自信がついていきますし、無駄がありません。そして、結果として他予備校の生徒より多くの問題を解くことになります。

—なるほど、確かに生徒を観察していると考えているのではなくて、わからなくて思考停止になっていたり、目標設定が曖昧なため、無駄なことをしたりして時間を空費しているのをよく見ます。

佐野：よくあることだと思います。その結果、一日にやらなければいけないことが達成できなくなり、一年で合格ラインまでたどり着けないということになります。

　そこで、そうならないように生徒をフォローするために、自習室で先生が机間巡回する監督付き演習授業RWTという指導を、日曜日を除く月曜日から土曜日に実施しています。

—わからないところがあればすぐに質問できるシステムですね。

佐野：そうです、ただ、単純に質問に対応するだけではなく、問題を解いているのを見て、解き方がおかしかったり、思考停止になったりしていれば、先生の方から声を掛けます。

—なるほど、そういう方法であれば、たくさんの問題を解くことも可能ですね。しかし、たくさんの問題を解かせれば解かせるほど、生徒の管理と講師間の連携が難しくなっていきませんか。

佐野：講師は他教科の指導状況は聞いてもわからないですから、自分の教科のことだけしか考えなくなってしまいがちです。

　そうすると、指導がバラバラになってしまいます。そこで、アイメディカでは生徒1人ひとりに学習計画書を作成しています。

　これは各教科の各分野の進捗状況が「進度」と「深度」の二軸を使って一目でわかるようにしたもので、どの教科が得意でどの教科が不得意なのかが視覚的にわかり、その結果講師間の連携をスムーズに行うことができます。

　また、生徒にとっては、志望校の合格ラインまであとどれくらいやらなければいけないのかがわかりますから、勉強の励みになります。

今年絶対合格コース

対象：高卒生～社会人

一年で絶対に医学部に合格したい人のための特別コースです。入塾時の学力に基づき、その生徒が一年で合格するために必要な知識と解法をすべて教えるために必要な学習計画を作成します。

毎日午前9時半から4コマの授業を行います。授業が終わると、授業を担当した先生がそのまま午後4時から午後9時までの5時間、RWTで授業理解度のチェック、復習問題、発展問題の演習を監督します。授業からRWTまで担当する先生がつきっきりで一貫して指導するため、非常に効率よく学力を向上させることができます。

授業は一年間で全範囲を3回取り扱います。1回目は基礎から始めて8月中旬までにほぼ全範囲を終了させ、2回目、3回目と回を重ねるごとにレベルを上げて医学部合格ラインへ導きます。

授業は集団授業を中心としますが、状況に応じて個別指導、後期のセンター試験対策授業の追加受講が可能です。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 9:30	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習
9:30 ～ 10:40	数学γ	セ対策・国	数学α	物理α	数学β	セ対策・社	1週間の復習
11:00 ～ 12:10	数学γ	セ対策・国	数学α	物理α	数学β	セ対策・社	
12:10 ～ 13:00	昼食休憩						
13:00 ～ 14:10	英語γ	化学α	英語α	化学β	英語β	物理	予習
14:30 ～ 15:40	英語γ	化学α	英語α	化学β	英語β	物理	マンスリーテスト／個別指導
16:00 ～ 17:00	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	
17:00 ～ 18:00	夕食休憩						
18:00 ～ 19:00	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	
19:10 ～ 20:00	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	
20:10 ～ 21:00	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	RWT	

前期・後期の通常授業は70分×2コマを1授業とし、1日2科目を学習します。
英語・数学はそれぞれ週3回、理科2科目はそれぞれ週2回。基礎から応用までガッチリ指導します。
1日12時間をアイメディカでみっちり特訓学習し、合格に必要な項目を完璧に完成させます。
※上記カリキュラムは物理・化学選択のモデルパターンです。

●小論文・二次試験対策は、入試要項が発表される夏期より実施します。
●二次試験対策（小論文・面接対策）
上記カリキュラムに加えて、大学入試要項が発表される夏以降に二次試験対策授業を実施いたします。
●RWTの分割受講はできません。

合格者の声

私は今年、多くのことをアイメディカから学びました。その結果、医学部に合格できるだけの学力を得ることができ、とても感謝しております。アイメディカでは勉強する姿勢を学ぶことができます。RWTでは、勉強とはどういうものなのかを教えてくれ、そして復習の意義についても学べます。合格するには、質の高いテキストや先生が必要ですが、本当に大事なのは本人の勉強の仕方です。アイメディカこそ、それを伝えることができる予備校です。私は自信を持って皆さんに推薦します。

KSくん
杏林大学、北里大学、埼玉医科大学、愛知医科大学　他合格

国公立医学部・上位私立医学部コース

対象：高卒生～社会人

集団指導とRWT、個別指導を組み合わせ、国公立大学医学部や私立上位大学医学部（慶應義塾大学・東京慈恵会医科大学・日本医科大学・順天堂大学・昭和大学・国際医療福祉大学）への合格を目指すコースです。

国公立大学受験が前提のため、他コースより早い時期に私立大学の受験対策を実施し、11月後半からセンター試験対策を実施します。また、1月～2月上旬の私立大学入試終了後は、国公立大学医学部の対策を実施し、試験の前日まで合格を目指してフォローします。

短期間で入試レベルの内容に到達するため、テンポの速い授業計画になっています。そのため、ある程度の基礎力と高い思考力、しっかりした意思とモチベーションが必要です。

また、実戦力養成のため、他コースより多くの模試を受験します。一方、調整日として月曜日は授業を組まないなど、自習時間を多く取り、じっくりと実力を養成できるよう配慮しています。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 9:30	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習
9:30 ～ 10:40	（数学）	セ対策・国	数学α	物理α	数学β	セ対策・社	1週間の復習
11:00 ～ 12:10	（数学）	セ対策・国	数学α	物理α	数学β	セ対策・社	
12:10 ～ 13:00	昼食休憩						
13:00 ～ 14:10	（英語）	化学α	英語α	化学β	英語β	物理β	予習
14:30 ～ 15:40	（英語）	化学α	英語α	化学β	英語β	物理β	マンスリーテスト／個別指導
16:00 ～ 17:00	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	
17:00 ～ 18:00	夕食休憩						
18:00 ～ 19:00	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	
19:10 ～ 20:00	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	
20:10 ～ 21:00	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	（RWT）	

※（）は選択授業です。

前期・後期の通常授業は70分×2コマを1授業とし、1日2科目を学習します。
英語・数学はそれぞれ週2回、理科2科目はそれぞれ週2回
※上記カリキュラムは物理・化学選択のモデルパターンです。

●センター試験対策は、秋から開始します。センター試験の下準備は4月から実施します。
●二次試験対策（小論文・面接対策）
上記カリキュラムに加えて、大学入試要項が発表される夏以降に二次試験対策授業を実施いたします。
●RWTの分割受講はできません。

合格者の声

合格するために必要なことを、アイメディカの先生方は一人ひとりに合った方法で教えてくださいます。特に私は4月の時点で物理が壊滅的でしたが、先生の言うとおりに勉強した結果、入試では得点源として臨むことができるようになりました。アイメディカの一年間で、大切にしたことは、とにかく授業に出席して予習復習をきちんとすること、それだけでした。先生方を信じて余計なものには手を出さず、何度もテキストを繰り返すことが結果的に合格への近道になったと思います。

JKくん
聖マリアンナ大学、杏林大学医学部
合格

私立医学部総合本科コース

対象：高卒生～社会人

生徒一人ひとりの実力とペースにあわせて丁寧に指導するコースです。今年絶対合格コースや国公立医学部・上位私立医学部コースより授業数を減らして自習時間を多くとることで、マイペースで学習することができるようになっています。

授業では【わかる】だけではなく【得点】できるように解き方を指導します。私立大学医学部に必要な数学、英語、理科に絞り、一年間で全範囲を3回授業し、私立大学医学部への合格を目指します。

今年絶対合格コース、国公立医学部・上位私立医学部コースと異なり、RWTは必修ではなく、また、月曜日は授業がありません。これらの時間は、自習時間や個別授業の受講に当てるなど、柔軟に利用することができます。

必要な知識や解法について習ったら、あとは自分で勉強したい人や、遠距離通学などのためRWTへの出席が時間的に難しい人、得意科目が極端に片寄っている人にお勧めのコースです。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 9:30	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習
9:30 ～ 10:40	(テスト)／(数学)	自習	数学α	自習	数学β	生物β	1週間の復習
11:00 ～ 12:10	(テスト)／(数学)	自習	数学α	自習	数学β	生物β	
12:10 ～ 13:00	昼食休憩						
13:00 ～ 14:10	テスト／(英語)	物理α	英語α	生物α	英語β	物理β	予習
14:30 ～ 15:40	テスト／(英語)	物理α	英語α	生物α	英語β	物理β	マンスリーテスト／個別指導
16:00 ～ 17:00	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	
17:00 ～ 18:00	夕食休憩						
18:00 ～ 19:00	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	
19:10 ～ 20:00	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	
20:10 ～ 21:00	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	(RWT)	

※()は選択授業です。

前期・後期の通常授業は70分×2コマを1授業とし、1日2科目を学習します。
英語・数学・理科をそれぞれ週2回。
※上記カリキュラムは物理・生物選択のモデルパターンです。

●二次試験対策（小論文・面接対策）
上記カリキュラムに加えて、大学入試要項が発表される夏以降に二次試験対策授業を実施いたします。
● RWTの分割受講はできません。

合格者の声

アイメディカに入学して、勉強に対する姿勢が大きく変わりました。それまでは講義を聞いて、なんとなくわかったつもりで次の勉強に移ったり、苦手なところがあっても先送りにしたりということを繰り返し、伸び悩んでいました。しかし、アイメディカのRWTは、得点できるようになるまで演習を繰り返させられました。大変でしたが、大きな実力と自信をつけることができました。
また、夜遅くまで先生方が親身になって教えてくださったことで、モチベーションを維持することができました。

TMさん
帝京大学医学部、東京女子医科大学
合格

個別中心コース

対象：高校生～社会人

個別指導を中心に授業を組み合わせて、自分に最適な授業体制を作ることができるコースです。

アイメディカの個別指導は、先生や生徒に授業内容を丸投げせず、学習計画表を作成し、一年間の計画を綿密に立てて実施します。

これにより、得意な教科やすでに習得している内容に時間を費やすことなく、ウィークポイントの徹底克服や頻出分野の実力向上に集中して、最小限の授業で効率よく医学部合格に必要な力を養成することができます。

集団授業を個別指導が代替する以外は、他のコースと同様のサポートを実施します。また、マンスリーテストやRWTは必修ではありませんが、応用力や実戦力の養成のために受講を勧めています

時間の制約が厳しい社会人再受験生や大学生、入塾時期が他の受験生と異なってしまい集団授業に入っていきにくい人（他のコースへの途中変更も可能）にお勧めのコースです。

1週間のスケジュール

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr>
<tr><td>9:00 ～ 9:30</td><td colspan="6">自習</td><td>自習</td></tr>
<tr><td>9:30 ～ 10:40</td><td>英語予習</td><td>数学予習</td><td>生物</td><td>英語</td><td>英語予習</td><td rowspan="2">自習</td><td rowspan="3">1週間の復習</td></tr>
<tr><td>11:00 ～ 12:10</td><td>（自習）</td><td>（自習）</td><td>（自習）</td><td>（授業）</td><td>（自習）</td></tr>
<tr><td>12:10 ～ 13:00</td><td colspan="6">昼食休憩</td></tr>
<tr><td>13:00 ～ 14:10</td><td>英語</td><td>数学</td><td>予習</td><td>数学</td><td>英語</td><td rowspan="4">自習</td><td>予習</td></tr>
<tr><td>14:30 ～ 15:40</td><td>（授業）</td><td>個別指導</td><td>復習</td><td>個別指導</td><td>授業</td><td rowspan="6">マンスリーテスト／個別指導</td></tr>
<tr><td>16:00 ～ 17:00</td><td>生物</td><td>数学復習</td><td>化学</td><td>数学復習</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>17:00 ～ 18:00</td><td>（自習）</td><td>（復習）</td><td>個別指導</td><td>（復習）</td><td>復習</td></tr>
<tr><td>18:00 ～ 19:00</td><td colspan="6">夕食休憩</td></tr>
<tr><td>19:10 ～ 20:00</td><td colspan="6" rowspan="2">自習</td></tr>
<tr><td>20:10 ～ 21:00</td></tr>
</table>

※()は選択授業です。

単なる個別指導と違って年間を通してカリキュラムを組み、計画に基づいて実施します。
※上記カリキュラムは化学・生物選択のモデルパターンです

●二次試験対策（小論文・面接対策）
上記カリキュラムに加えて、二次試験対策として、小論文・面接の授業を受講する事が可能です。
●受験必要科目によってカリキュラム・時間割が変更となります。
●ご予算に応じてカリキュラムを組むことが可能です。
●講師の変更はいつでも可能です。

合格者の声

僕は全寮制の高校に通っていたため、アイメディカには週末だけ通学しました。学校では志望大学レベルの対策はなく、受験対策は自分でやらなくてはならない環境でした。個別指導は数学の鈴木先生、生物の三上先生の指導を受けました。鈴木先生は僕に合わせた良問を選んでくださり、力を伸ばしてくれました。鈴木先生がいなければ合格は無理だったと思います。また、学校の授業が合わず、生物は苦手だったのですが、三上先生の生物の指導で大きく変わり、得意科目にすることができました。

TYさん
昭和大学医学部合格

国公立医学部・私立医学部別科コース

対象：中学生～高校3年生

学校の勉強と受験勉強の両立で時間が不足する現役生を対象とするコースです。徹底した時間管理と医学部入試に特化した内容のみの指導により、浪人生対象の昼間コースと同等の充実した指導内容を実現します。学習計画は成績や確保できる時間、学校の進度に応じて一人ひとりアレンジし、医学部合格を達成する実力を養成します。

●高校3年生
集団授業と個別指導を組み合わせ、徹底的に無駄を省いた指導で一般入試合格を目指します。推薦入試の出願要件を満たす人は推薦入試も視野に入れた指導を実施します。

●中学生～高校2年生
調査書の評価をあげ、推薦入試の出願要件を満たすことを第一目標としながら、一般入試に合格するための実力を養成します。
推薦入試は出願要件が複雑であり、また、試験も一般入試より2ヵ月以上早いことから、推薦入試での合格を目指す人は、高校2年生までの入塾を強くお勧めします。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金		土	日
	学校					13:30 ～ 14:30	化学	自習
						14:45 ～ 16:45	物理β	マンスリーテスト／個別指導
						17:00 ～ 19:00	小論文	
						19:00 ～ 19:30	夕食	
19:15 ～ 21:15	化学	英語α	数学α	英語β	物理α	19:30 ～ 21:30	数学β	

アイメディカでは、生徒一人ひとりの科目ごとの実力に合わせて、最も効果的に理解力と解答力を伸ばし、受験での得点力をつけていきます。この国公立医学部・私立医学部別科コースは、今年絶対合格コース、国公立医学部・上位私立医学部コースなど高卒生を対象とした、昼間本科コースに劣らない充実したコース内容で、時間のない現役受験生を効率的に強力にバックアップし、万全にサポートします。

大学入試の中でも難関を極める医学部入試に打ち勝つためには、徹底した時間管理が必要です。 特に学校があるため、限られた時間しか取れない現役生にとっては、医学部入試・医療系学部入試に特化した内容だけに集中する必要があります。 他学部には必要でも自分の志望する医学部では必要のないものには学校の成績を維持する以上の時間をかけるわけにはいきません。

また、他学部では出題されないものの自分の志望校の医学部入試では出題される範囲をしっかり押さえておかなくてはなりません。

アイメディカでは、現役生の陥りやすい時間の無駄をも徹底的に排除し、医学部・医学部系学部合格への最短距離の講義を展開します。

●夏期冬期は時間割が変更となり、理科・数学・英語の時間が増えます。
●二次試験対策（小論文・面接対策）
上記カリキュラムに加えて、大学入試要項が発表される夏以降に二次試験対策授業を実施いたします。
●現役生向け個別指導（授業）は、1時間10,000円（税別）からとなります。

※上記カリキュラムは物理・化学選択のモデルパターンです。

合格者の声

部活動も委員会活動もしており、時間に十分な余裕がありませんでしたが、数学が苦手なため個別指導から受け始めました。高校3年生の時点で先生方と相談し、推薦、国公立大学受験をやめ、私立大学医学部対策にシフトしました。常に学習の状況と模試の結果を考え、貴重な時間を有効に活用するにはどうしたらよいかという観点から考えることで、楽しんで受験生活を送ることができました。その結果、防衛医科大学校、東京慈恵会医科大学、順天堂大学、日本医科大学、東邦大学、昭和大学のすべてに合格することができました。

Yくん
防衛医科大学、東京慈恵会医科大学
他合格

家庭派遣個別指導

対象：中学生～高校2年生

20倍近い倍率の医学部入試を突破するための準備は、どんなに早くはじめても早すぎるということはありません。しかし、高校1年生、2年生や中学生の場合、部活動や習い事などで予備校に通う時間がどうしても捻出できないということも多いと思います。

アイメディカでは、予備校で指導に当たっているプロ講師を、ご家庭に派遣して個別指導を行う家庭派遣個別指導を実施しています。

これは、単なる家庭教師ではなく、高校3年生での受験を見据えた一貫教育です。本格的に受験勉強を始める3年生までにやるべきことを生徒、保護者、講師の間で話し合い、学習計画表を作成して指導を行います。

一般入試に限定せず、推薦入試も選択肢の1つとして指導します。

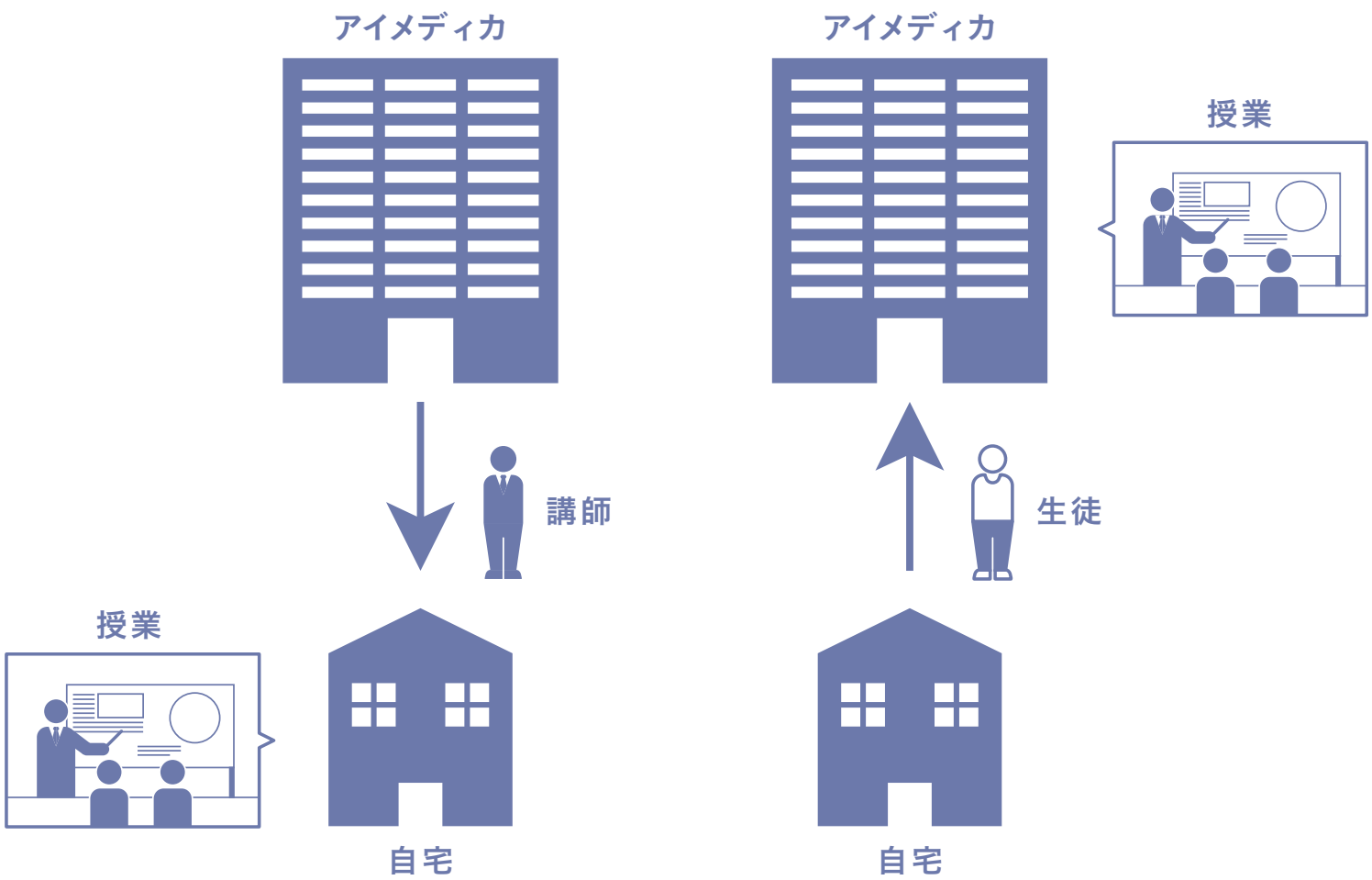
アイメディカの家庭派遣個別指導は、医学部受験までの一貫教育です

アイメディカの家庭派遣個別指導は、授業の場所が「教室」から「ご自宅」になっただけで、学習計画や進路指導は通塾生と同じです。単に先生を派遣するだけの家庭教師派遣とはまったく違います。

① 高校3年生での医学部合格を目標にした、綿密な学習計画表を作成します

② AO、推薦入試も視野に入れた、幅広い進路指導をします

③ アイメディカで実際に教鞭をとっているプロ講師を派遣します



中学生 ～ 高校2年生 → 高校3年生 → 医学部入試

医学部入試までの一貫した学習計画表

通信制コース・合宿など

国公立・私立総合獣医コース(B)・私立総合歯科コース(D)

アイメディカでは、医学部受験を目的としたコースだけではなく、国公立・私立大学獣医学部や歯学部の受験を目指すコースもご用意しております。少人数制授業、個別指導などを組み合わせ、志望校合格のために最適な指導を提供いたします。

合格者の声

日本大学松戸歯学部・岩手医科大学歯学部合格　T・Sさん

私は歯科医師である父の影響もあり、幼いころから歯科医師になることが夢でした。しかし、小学校から一貫校に通い、受験勉強をしたことのない私は大手の塾のような集団授業についていけませんでした。そこで、私は生徒一人ひとりにあわせて学習プランを組んでもらえるアイメディカを選びました。特に理科全般を苦手としていた私は、化学に力を入れ、様々な工夫をして勉強しました。その結果、化学が今までより好きになり、成績も大きく伸びました。アイメディカの授業は、ただただ詰め込むだけではなく、何回も復習を繰り返し行う授業だったので私にはぴったりでした。今までこんなに勉強をしたことがなく、もしアイメディカに出会っていなかったら私の将来は大きく違っていたでしょう。佐野先生をはじめとする多くの先生方に感謝です。本当にありがとうございました。

通信制コース

時間的、あるいは距離的に通塾が難しい方向けに、Skypeを使った通信制コースを用意しています。単なる質問対応や学生講師による未熟な指導ではなく、本科生と同様に受講生の状況に応じた学習計画を作成し、そのカリキュラムに従ってプロ講師が合格するために必要な指導を実施します。

最も効果的で効率のよい指導ができるように、学習計画は来校可能な時期(夏休み、冬休みなどの長期休暇)に直接来校していただき、直接指導や合宿・講習会などへの参加も含めて立案します。

また、進路指導や医学部入試に関する情報提供、二次試験対策などのサポートも、本科生と同様に行います。

※入会金および授業料以外は、教材費、通信機器費などの追加費用は一切不要です。

願書・志望理由書　添削指導サービス

入学願書や志望理由書は、受験の合否に大きく影響します。内部生へはサポートの一環として、入学願書や志望理由書の作成から添削まで、丁寧な指導をしています。

外部生へのサービスとしては、2016年から入学願書および志望理由書の通信添削指導を始めました。

環境や志望校に応じて、郵送、FAX、Skypeなどにより、入学願書・志望理由書の完成をお手伝いいたします。

夏期・冬期合宿

アイメディカでは、短時間で実力を養成する合宿を、美しい海と山に囲まれた神奈川県葉山町のホテルで夏冬の2回実施します。

●夏期合宿(8月中旬　5泊6日)

一人ひとりの能力と志望校にあわせて設定した目標を立て、集団授業、集中演習、個別指導の組み合わせにより、苦手分野の克服と得点源になる分野の実力アップを達成し、確実に合格できる力を養成します。

●冬期合宿(12月下旬　6泊7日)

それまでに培った学力を、確実に合格できる力に変えるための直前合宿です。夏期合宿と同様に集団授業、集中演習、個別指導の組み合わせにより、志望校の合格点を取ることができる力を完成させます。

施設のご紹介

教室・校舎内自習室

校舎外観

自習室

少人数授業教室

学生寮のご案内

アイメディカは、充実した学習環境を提供するため、複数の学生寮と提携しています。

【男女寮】
パークハビオ渋谷
教室徒歩2分

【男子寮】
学生センターハビテ南平台
教室徒歩7分

【男子寮】
文篤館
（舟橋聖一記念館付属男子学生会館）
目白駅徒歩4分

【女子寮】
女子学生会館
（渋谷女子学生ハイツ）
教室徒歩15分

【女子寮】
徳川ドーミトリー
目白駅徒歩4分

自習室（スタディーラウンジ）

アイメディカでは、一人きりになって静かな環境で勉強できるよう、外部の自習室を利用できるようにしています。

木目調の家具と、緑を多くあしらった内装、適度な明るさの照明により、落ち着いて勉強に集中することができます。仕切りのある自習ブースと、ある程度会話ができるラウンジスペースがあるため、適度に気を抜きながら勉強をすることができます。

また、営業時間内はコンシェルジュが常駐しており、困ったことがあれば、すぐにサポートを受けることができます。さらに、営業時間は7:00 ～ 23:00と長く、向上心の高い学習者が集まっているため、一年を通じて高いモチベーションを保つことができます。

医学部予備校アイメディカ
〒 150-0002
東京都渋谷区渋谷 3-7-1 高山ランド第 12 ビル 7 階
TEL：03-6661-8324　FAX：03-6661-8426
mail：aimedica@gmail.com
URL：http://www.ai-medica.jp/

Access

JR 山手線・東京メトロ銀座線
東急東横線（南改札）渋谷駅東口を出て、
右手に見える歩道橋を渡り徒歩 2 分。

東急田園都市線・東急東横線・東京メトロ半蔵門線・副都心線
渋谷駅 15 番出口を出て左に曲がって歩道橋を渡り徒歩 2 分。
（六本木通り沿いのスロープを降りてください）

埼京線・りんかい線・湘南新宿ライン JR 渋谷駅新南口から徒歩 4 分。

Access Map